

施策評価調書(1)

評価対象年度

28年度

めざす姿	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”
施策名	1 健康を育むまちづくり
施策関係課	健康増進部:保健衛生課、保健所準備室、国民健康保険課、高齢者保険事業室、保健センター／看護専門学校

●施策の基本方針(目標)

市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりと疾病予防を促し、それを支える保健・医療体制を充実させることで市民の“健康寿命”を伸ばします。

●目標指標

指標	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)	単位	%	指標の種別	成果
指標①	目標値	現状値を上回る(平成32年度)	現状値	38.4(平成27年度)	達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値	44.3				
指標②	名称	川口市民の65歳健康寿命(男性)	単位	年	指標の種別	成果
	目標値	17.3(平成32年度)	現状値	16.23(平成25年度)	達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値	16.51(平成27年度)				
指標③	名称	川口市民の65歳健康寿命(女性)	単位	年	指標の種別	成果
	目標値	20(平成32年度)	現状値	19.29(平成25年度)	達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値	19.58(平成27年度)				
指標④	名称		単位		指標の種別	
	目標値		現状値		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値					
指標⑤	名称		単位		指標の種別	
	目標値		現状値		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値					

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

事業額	(単位:千円)	28年度決算見込額	29年度予算額	30年度計画額	31年度計画額	32年度計画額
事業費		4,335,385	5,445,951	4,499,351		
概算人件費		887,896	951,756	670,956		
総事業費		5,223,281	6,397,707	5,170,307		

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 53	単位施策② 47	単位施策③ 52	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
			50.7		

施策評価調書(2)

評価対象年度	28年度
--------	------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 保健・予防活動の推進							
事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	28年度の	29年度の
			事業費 (決算見込額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11100102	保健所準備事業	健康増進部	116,697	949,673	0	48	拡充して実施
		保健所準備室	164,000	280,800	0		
11100201	健康づくり推進事業	健康増進部	2,221	2,726	2,726	42	現状維持で実施
		保健衛生課	328	312	312		
11100301	健康フェスティバル事業	健康増進部	2,472	2,930	2,930	54	現状維持で実施
		保健衛生課	5,330	5,070	5,070		
11100401	食生活改善推進事業	健康増進部	1,457	1,374	1,374	56	現状維持で実施
		保健衛生課	5,658	4,914	4,914		
11100501	その他保健衛生総務費	健康増進部	1,667	1,752	1,752	50	現状維持で実施
		保健衛生課	2,706	2,574	2,574		
11100601	じん肺健康診断費補助事業	健康増進部	2,127	2,500	2,500	50	現状維持で実施
		保健衛生課	410	390	390		
11100701	保健センター管理費	健康増進部	17,770	19,622	19,622	54	現状維持で実施
		保健センター	6,560	6,240	6,240		
11100801	予防接種事業	健康増進部	1,517,208	1,594,714	1,594,714	56	現状維持で実施
		保健センター	8,200	7,800	7,800		
11100901	母子健康手帳交付・妊婦健康診査等事業	健康増進部	469,021	487,151	487,151	54	現状維持で実施
		保健センター	7,380	7,020	7,020		
11101001	乳幼児健康診査・健康相談事業	健康増進部	100,479	104,243	104,243	56	現状維持で実施
		保健センター	106,600	101,400	101,400		
11101101	未熟児養育支援事業	健康増進部	51,711	46,161	46,161	54	現状維持で実施
		保健センター	18,860	17,940	17,940		
11101201	がん検診事業	健康増進部	548,855	568,856	568,856	52	現状維持で実施
		保健センター	31,160	29,640	29,640		
11101301	健康診査事業	健康増進部	81,017	82,879	82,879	52	現状維持で実施
		保健センター	10,660	10,140	10,140		
11101401	成人健康づくり事業	健康増進部	2,398	2,359	2,359	54	現状維持で実施
		保健センター	50,840	48,360	48,360		
11101501	精神保健福祉事業	健康増進部	1,240	1,007	1,007	54	現状維持で実施
		保健センター	36,900	35,100	35,100		
11101601	歯の健康フェスティバル事業	健康増進部	1,460	1,491	1,491	54	現状維持で実施
		保健センター	2,460	2,340	2,340		

単位施策名 ② 医療体制の充実							
事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	28年度の	29年度の
			事業費 (決算見込額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11200102	小児夜間等救急診療事業	健康増進部	83,104	83,334	83,334	48	現状維持で実施
		保健衛生課	5,740	5,460	5,460		
11200201	在宅当番医制事業	健康増進部	22,930	22,996	22,996	48	現状維持で実施
		保健衛生課	1,476	1,404	1,404		
11200301	在宅歯科診療事業	健康増進部	10,929	10,929	10,929	40	現状維持で実施
		保健衛生課	1,476	1,404	1,404		
11200401	病院群輪番制運営事業	健康増進部	31,045	31,045	31,045	54	現状維持で実施
		保健衛生課	2,870	2,730	2,730		

施策評価調書(2)

評価対象年度 28年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	28年度の	29年度の
			事業費 (決算見込額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11200501	外国人未払医療費対策事業	健康増進部	1,270	0	0	52	休止
		保健衛生課	410	0	390		
11200601	献血推進事業	健康増進部	3,148	3,110	3,110	48	現状維持で実施
		保健衛生課	820	780	780		
11200701	骨髄移植ドナー支援事業	健康増進部	560	700	700	36	現状維持で実施
		保健衛生課	738	702	702		
11200801	医師会補助事業	健康増進部	2,547	2,547	2,547	48	現状維持で実施
		保健衛生課	410	390	390		
11200901	公的医療機関運営費補助事業	健康増進部	124,508	124,508	124,508	42	現状維持で実施
		保健衛生課	410	390	390		
11201001	済生会川口看護専門学校補助事業	健康増進部	4,270	4,270	4,270	44	現状維持で実施
		保健衛生課	410	390	390		
11201101	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業	健康増進部	9,897	15,000	15,000	50	現状維持で実施
		保健衛生課	492	468	468		
11201201	奨学金貸付事業	看護専門学校	22,350	26,280	26,280	58	現状維持で実施
		看護専門学校	8,200	7,800	7,800		
11201301	第1看護学科運営費	看護専門学校	18,686	19,497	19,497	56	現状維持で実施
		看護専門学校	82,000	70,200	70,200		
11201401	第2看護学科運営費	看護専門学校	11,350	12,023	12,023	40	縮小して実施
		看護専門学校	65,600	62,400	62,400		

単位施策名		③ 医療保険制度の充実					
事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	28年度の	29年度の
			事業費 (決算見込額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11300101	被保険者証発送事務費	健康増進部	54,910	58,866	58,866	54	現状維持で実施
		国民健康保険課	69,700	67,080	67,080		
11300201	国保給付事務費	健康増進部	7,996	11,268	11,268	54	効率化して実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,800		
11300301	レセプト点検事業費	健康増進部	4,637	7,139	7,139	52	現状維持で実施
		国民健康保険課	2,460	2,340	2,340		
11300401	共同電算処理事業費	健康増進部	64,303	63,982	63,982	52	現状維持で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,800		
11300501	賦課事務経費	健康増進部	76,759	101,045	101,045	56	現状維持で実施
		国民健康保険課	85,198	81,042	81,042		
11300601	相談員事業費	健康増進部	42,067	45,271	30,000	44	効率化して実施
		国民健康保険課	20,910	9,750	9,750		
11300701	国民健康保険運営協議会経費	健康増進部	495	842	842	53	現状維持で実施
		国民健康保険課	2,460	2,340	2,340		
11300801	保健衛生普及事業	健康増進部	18,506	19,302	19,302	52	現状維持で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,800		
11300901	後発医薬品利用促進事業	健康増進部	409	687	687	52	現状維持で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,800		
11301001	疾病予防事業	健康増進部	244,840	271,429	271,429	52	現状維持で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,800		
11301101	特定健康診査事業費	健康増進部	278,678	355,116	355,116	54	現状維持で実施
		国民健康保険課	8,364	7,956	7,956		

施策評価調書(2)

評価対象年度	28年度
--------	------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	28年度 事業費 (決算見込額)	29年度 事業費 (予算額)	30年度 事業費 (計画額)	28年度の 総評価	29年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11301201	特定保健指導事業費	健康増進部	33,041	23,323	23,323	52	現状維持で実施
		国民健康保険課	7,380	7,020	7,020		
11301301	健康診査事業	健康増進部	114,293	119,085	127,422	52	拡充して実施
		高齢者保険事業室	2,460	2,340	2,340		
11301401	人間ドック検診料助成事業	健康増進部	100,378	113,293	121,225	54	拡充して実施
		高齢者保険事業室	2,460	2,340	2,340		
11301501	後期高齢者医療保険料徴収関係経費	健康増進部	29,679	29,626	31,701	48	効率化して実施
		高齢者保険事業室	16,400	15,600	15,600		

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11100102	事業名称	保健所準備事業			事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	健康増進部	保健所準備室	問い合わせ先	#72-2574	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 27 年 ~ 平成 29 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	地方自治法第252条の22第1項、地域保健法第5条第1項

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市保健所(動物管理施設、検査施設等を含む)	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	中核市への移行に伴い、現在県が実施する食品衛生、生活衛生、医事・薬事、精神保健、感染症予防等の業務を市が自ら担うため、新たに市保健所を設置する。これにより、市民のニーズや地域の実情に応じた、よりきめ細やかな対応が可能となるものである。	市保健所の設置準備	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	・県川口保健所(市保健所設置予定地)の改修の協議(7月) ・検査施設の実施設設計完了(5月)及び設置工事着工(11月) ・動物管理施設の実施設設計(10月～) ・保健所業務習熟のための埼玉県等への職員派遣(4月～)	項目	実績 単位
		保健所関連施設の整備費(執行見込額)	116,697 千円
		埼玉県及びさいたま市への研修派遣人数	13 人
活動の成果【定性的評価】	平成30年度の市保健所開設に向け、計画通り順調に準備を進めることができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度		29年度		30年度	
指標①	名称	施設整備費	目標値	177,455	949,673				
	単位	千円	指標の種別	活動	実績値・達成状況	116,697 達成			
	指標・目標値の説明(算定式)	保健所関係施設の整備にかかる事業費(目標値:予算額、実績値:執行見込額)							
指標②	名称	職員研修派遣実績	目標値	13	27				
	単位	人	指標の種別	活動	実績値・達成状況	13 達成			
	指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県及びさいたま市への研修派遣人数							

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	002細目	01細々目	保健所準備事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	212,867			949,673			0					
決算額(B)	116,697											
財源	特定財源	0										
	一般財源	116,697										
概算人件費(C)	164,000			280,800			0					
従事職員人数(人)	常勤	20.00	再任用	0.00	常勤	36.00	再任用	0.00	常勤	0.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	280,697			1,230,473			0					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	平成30年度の保健所開設に向け、万全の準備を整える必要がある。埼玉県や先行中核市等を参考として、職員の研修、施設の整備、例規の制定等に努めるものとする。	29年度 拡充して実施 30年度 完了 31年度 -

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11100201	事業名称	健康づくり推進事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2686	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	食育基本法、川口市健康・生きがいつくり推進協議会条例、健康管理士一般指導員資格取得者補助金交付要綱他

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	健康で活力に満ちた街づくりを推進するため、市民の健康・生きがいつくりを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 健康・生きがいつくり推進協議会の開催 健康・生きがいつくり通信の発行 食育推進計画アンケート 食育推進計画(第2次)策定 地域健康指導者資格取得者への補助 		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 健康・生きがいつくり協議会開催(6、8、10、12、2月) 健康・生きがいつくり通信発行(12月)・食育推進計画アンケート実施(6~8月)・食育推進計画(第2次)策定 健康管理士一般指導員資格取得者2名、健康生きがいつくりアドバイザー資格取得者3名へ補助。 	項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	地域の健康・生きがいつくりに関する諸施策を総合的に推進できた。	健康・生きがいつくり推進協議会	5	回
		食育推進計画アンケート配布数	5,617	件
		健康・生きがいつくり通信発行数	23,000	枚

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	地域健康指導者資格の取得者	目標値	6	6	6
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	5 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		前年度の健康管理士一般指導員と健康・生きがいつくりアドバイザー資格取得者の計			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	003細目	01細々目	健康づくり推進事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	2,726			2,726			2,726					
決算額(B)	2,221											
財源	特定財源	0										
	一般財源	2,221										
概算人件費(C)	328			312			312					
従事職員人数(人)	常勤	0.04	再任用	0.00	常勤	0.04	再任用	0.00	常勤	0.04	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,549			3,038			3,038					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	3 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
42 /60	食育推進計画(2次)の策定により、目標達成に向けた啓発を積極的に進める。地域健康指導者の資格取得については、健康に関するボランティア活動の増加につなげる目的であるので、単純な資格取得補助にならないようにしていく必要がある。また、市民ニーズを把握し、結果により事業の縮小・拡大を検討していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11100301	事業名称	健康フェスティバル事業	事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	2687	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	川口健康フェスティバル実行委員会補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民 川口健康フェスティバル実行委員会	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民一人ひとりが健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという自覚を持ち、市民主役の健康づくりの実現につなげる。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・川口健康フェスティバルの開催	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	・平成28年9月25日(日)、川口総合文化センターリリア ・健康体験コーナーとして三師会による各種健康相談の他、 血圧・骨密度測定、ロコモチェック、ウォーキング教室等 ・保健・医療に係る功労表彰及び健康に係る講演会	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	チラシ27,000枚、ポスター2,400枚、各種広報誌、新聞社、通信社、放送局、国際興業、埼玉高速鉄道などあらゆる媒体を利用した周知により、事業への参加につながり、市民の健康・生きがいづくりに関しての意識と関心を高めることができた。	川口健康フェスティバル実行委員会	2 回
		川口健康フェスティバル実行委員会・幹事会	2 回
		川口健康フェスティバル	1 回

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	健康体験コーナー来場者数	目標値	776	851	
	単位	人	指標の種別	成果	実績値・達成状況	863 達成
指標・目標値の説明(算定式)		過去2年の体験コーナー来場者の平均値				
指標②	名称	健康に係る講演会来場者数	目標値	440	450	
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	542 達成
指標・目標値の説明(算定式)		過去2年間の講演会来場者数の平均値				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	003細目	03細々目	健康フェスティバル事業
年度	28年度			29年度			30年度
予算現額(A)	2,930			2,930			2,930
決算額(B)	2,472						
財源	特定財源	0					
	一般財源	2,472					
概算人件費(C)	5,330			5,070			5,070
従事職員人数(人)	常勤	0.65	再任用	0.00	常勤	0.65	再任用
総事業費(A又はB+C)	7,802			8,000			8,000

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	市民の主体的な健康づくりに対する意識の啓発という意義から、健康に無関心な人が多い働く世代の参加を増加させることが課題である。川口健康フェスティバル実行委員会を構成する市内の健康関連団体の専門的見地に基づく提案を、十分に議論・調整することが必要である。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11100401	事業名称	食生活改善推進事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	2689	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市食生活改善推進員協議会	市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	地域の食生活の改善を目指すため、食育等に関する様々なボランティア活動を行っている川口市食生活改善推進員に研修等を行う。市内各所に支部が設置されており、主に支部長に対して毎月研修を行う。また、新規会員養成のための研修も実施している。	食生活改善推進員リーダー研修 食生活改善推進員養成講座		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	8月を除く毎月第二水曜日に、婦人会館において、保健センターの栄養士を講師として調理実習を行う「リーダー研修」を実施した。また、8月の第二水曜日には、より詳しい食の知識を身につけるため夏季勉強会を実施した。10月～12月には会員養成講座「さわやかセミナー」を実施した。	項目	実績	単位
		食生活改善推進員リーダー研修	11	回
食生活改善推進員養成講座	9	回		
活動の成果【定性的評価】	各研修によって、会員の質を向上させることができた。また、川口市食生活改善推進員協議会は、市内の様々な講習会(食育教室等)への協力や、各種料理教室開催等のボランティア活動を実施しており、市民の食生活の改善に貢献することができた。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	食生活改善推進員養成講座参加者数	目標値	30		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	25 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		昨年の参加人数が30名であったため、それを上回る結果を目指したが達成できなかった。例年の会場である西公民館ではなく、支部の存在しない安行東公民館で行ったため、減少は予測できたが、来年度はさらなる拡充を図る。			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	003細目	04細々目	食生活改善推進事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)			1,570			1,374	1,374	
決算額(B)			1,457					
財源	特定財源		0					
	一般財源		1,457					
概算人件費(C)			5,658			4,914	4,914	
従事職員人数(人)	常勤	0.69	再任用	0.00	常勤	0.63	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)			7,115			6,288	6,288	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	会員の高齢化が進んでおり、平成28年度末現在の平均年齢は73.6歳となっている。このままでは、今後の活動にも影響が出てくる可能性があり、いかに新規会員を増やしていくかが課題である。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11100501	事業名称	その他保健衛生総務費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2577	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年	～	年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進		
根拠法令等	川口歯科医師会補助金交付要綱、川口薬剤師会補助金交付要綱、川口食品衛生協会補助金交付要綱 等		

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	・一般社団法人川口歯科医師会・一般社団法人川口薬剤師会・川口助産師会・埼玉県柔道整復師川口支部・川口市狂犬病予防協会・川口調理師会・川口食品衛生協会		各施設を利用する市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	・市民の健康保持思想の向上に寄与し、保健衛生の増進および公衆衛生の向上を図るため。		各団体の活動を支援するため、補助金を交付する。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績		
	・救急医療、歯科健康診断 ・研修会、講習会 ・細菌検査、食品の自主検査 ・街頭キャンペーン、パンフレットの作成等 等の活動に補助金を交付した。		項目	実績	単位
			川口歯科医師会補助金	725	千円
			薬剤師会補助金	170	千円
活動の成果【定性的評価】			川口食品衛生協会補助金	340	千円
	・歯科医療の普及・啓発や健康診断など市民への疾病予防活動により、市民の歯科口腔衛生の向上を図ることができた。 ・食品衛生講習や管理・取扱い・自主検査の励行等の指導・啓発により、食中毒等の事故を未然に防止した。 など				

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	013細目	01細々目	その他保健衛生総務費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	2,255			1,752			1,752					
決算額(B)	1,667											
財源	特定財源			0								
	一般財源			1,667								
概算人件費(C)	2,706			2,574			2,574					
従事職員人数(人)	常勤	0.33	再任用	0.00	常勤	0.33	再任用	0.00	常勤	0.33	再任用	0.00
	総事業費(A又はB+C)			4,373			4,326			4,326		

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	補助金の支給に際し、より目的達成に資する事業の推進を支援していく。	29年度	現状維持で実施
		30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11100601	事業名称	じん肺健康診断費補助事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2577	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年	～		年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	じん肺法					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	・川口鋳物工業協同組合 ・川口機械工業協同組合			・川口鋳物工業協同組合員 ・川口機械工業協同組合員		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	じん肺法に基づく、じん肺健康診断の受診促進を講じ、粉じん作業従事者の職業病の早期発見・治療を支援するためである。			川口鋳物工業協同組合及び川口機械工業協同組合が行っている、じん肺健康診断におけるレントゲン検査・肺機能検査等及び研修会・研究会等に係る経費を対象とし補助金を交付した。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	じん肺健康診断におけるレントゲン検査・肺機能検査等の検査料、医師人件費、事務員人件費、通信費、検診機器購入費、労働基準局申請費、印刷費、会議費に対し補助金を交付した。			項目	実績	単位
				川口鋳物工業協同組合に対する補助金	2,127	千円
活動の成果【定性的評価】	事業所の粉じん作業従事者の健康管理とじん肺健康診断の促進を図り、職業病の早期発見・治療をすることができた。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	レントゲン受診者数		目標値	550	
	単位	人	指標の種別	結果	475	未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		じん肺健康診断におけるレントゲン受診者数(人)			
指標②	名称			目標値		
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	006細目	01細々目	じん肺健康診断費補助事業											
年度	28年度						29年度						30年度					
予算現額(A)	4,158						2,500						2,500					
決算額(B)	2,127																	
財源	特定財源						0											
	一般財源						2,127											
概算人件費(C)	410						390						390					
従事職員人数(人)	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00		
総事業費(A又はB+C)	2,537						2,890						2,890					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	受診対象者に対する周知方法の工夫等を行い、より高い受診率を目指す。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11100701	事業名称	保健センター管理費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年	～	年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進		
根拠法令等			

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	保健センター 市民等		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	保健センターの利用者が安全・快適に施設を利用すること。 また、保健センター業務を円滑に遂行するため。		<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 ・施設修繕料 ・施設維持に関する各種設備の保守点検委託料 	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績	
	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費の支払 ・自動ドア、空調設備等の保守点検の実施 ・利用者用駐車場の除草の実施 ・雨漏り、看板、防火用水槽等の修繕 		項目	実績
活動の成果【定性的評価】	適正な光熱水費の支払、来所者等が施設を安全かつ快適に利用するために保守点検及び修繕を行い、事故及び苦情も発生しなかった。			

■事業活動・成果の状況

					28年度	29年度	30年度
指標①	名称	利用者用駐車場の除草	目標値		4	4	4
	単位	回	指標の種別	結果	実績値・達成状況	4	達成
	指標・目標値の説明(算定式)	利用者用駐車場を快適に使用するために必要な除草実施の回数。					
指標②	名称		目標値				
	単位		指標の種別	結果	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)						

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	002細目	01細々目	保健センター管理費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	19,818			19,622			19,622					
決算額(B)	17,770											
財源	特定財源			85								
	一般財源			17,685								
概算人件費(C)	6,560			6,240			6,240					
従事職員人数(人)	常勤	0.80	再任用	0.00	常勤	0.80	再任用	0.00	常勤	0.80	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	24,330			25,862			25,862					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
54 /60	施設の老朽化に伴い、今後は修繕費用の増加が予想されるため、適切な点検の実施と、早期の修繕により、修繕費の縮減を図る。	29年度	現状維持で実施	
		30年度	現状維持で実施	
		31年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11100801	事業名称	予防接種事業	事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年	～	年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進		
根拠法令等	予防接種法		

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	予防接種法に定められている各対象年齢の市民	予防接種法に定められている各対象年齢の市民で予防接種を受けた者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	感染症に感染するおそれのある者に対し、感染症の発病予防、症状の軽減、蔓延防止を目的に実施する。	川口市医師会と委託契約し、同会会員の市内医療機関等で定期予防接種を個別接種として実施する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	予防接種法に規定されている以下の定期予防接種の実施。ヒブ感染症、小児肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、BCG、麻疹・風疹、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	定期予防接種を実施することにより、感染症の蔓延を防止することができた。また、感染症に罹患した者についても、軽症で済んだ。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	BCG予防接種の接種率	目標値	100	100	100
	単位	%	指標の種別	結果	実績値・達成状況	98.1 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	定期予防接種対象者数を接種者数で除した数値				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	003細目	01細々目	予防接種事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	1,590,017			1,594,714			1,594,714	
決算額(B)	1,517,208							
財源	特定財源	4,051						
	一般財源	1,513,157						
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800	
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	1,525,408			1,602,514			1,602,514	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	周知方法について工夫し、受診率の向上に努める。	29年度	現状維持で実施
		30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11100901	事業名称	母子健康手帳交付・妊婦健康診査等事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 9 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	母子保健法

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市市民の妊婦	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	疾病や異常を早期に発見し、妊娠中の健康状態を良好に保ち、さらに、経済的な理由などで妊娠中の健康管理を怠ることがないように経済的負担の軽減を図り、丈夫な赤ちゃんを安全に出産できるように支援する。	母子健康手帳の交付時に妊婦健康診査助成券を交付し、公費助成を実施する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	妊婦健康診査受診票を交付し、妊婦健康診査業務を委託している県医師会、助産師会埼玉県支部または県外の医療機関に妊婦が助成券を提出することにより、公費助成を実施した。里帰り等で委託契約していない医療機関で受診した健診料金については、後日の申請により助成金を交付した。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	疾病や異常を早期に発見し妊娠中の健康状態を良好に保ち丈夫な赤ちゃんを安全に出産できるよう支援する事が出来た。経済的な理由などで妊娠中の健康管理を怠ることがないように経済的負担の軽減を図ることができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	受診票交付者数	目標値	5,300	5,300	5,300
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	5,303 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	妊娠届けを提出し、妊婦健康診査の受診券を交付した数				
指標②	名称	一人当たりの妊婦の受診回数	目標値	12	12	12
	単位	回	指標の種別	成果	実績値・達成状況	10.4 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	受診した数÷受診券を受け取った妊婦の数(回)				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	004細目	01細々目	母子健康手帳交付・妊婦健康診査等事業						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	486,874			487,151			487,151						
決算額(B)	469,021												
財源	特定財源	0											
	一般財源	469,021											
概算人件費(C)	7,380			7,020			7,020						
従事職員人数(人)	常勤	0.90	再任用	0.00	常勤	0.90	再任用	0.00	常勤	0.90	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	476,401			494,171			494,171						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	償還払いの問い合わせが多くなっているため、今後は、周知方法の工夫を図る。 助成券の使用については、継続して周知を図っていく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11101001	事業名称	乳幼児健康診査・健康相談事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	母子保健法

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市民の3か月児から6歳児	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	乳幼児の発育、発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見したり、適切な指導を行う。また、虫歯の予防、早期発見、治療によって幼児の歯科保健の向上を図る。発育発達が気になる児及びその保護者に対し、心理相談員などが相談に応じ保護者の不安を軽減し、育児支援をする。	対象児に対して、健康診査、健康相談を実施する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	3. 4か月児・1歳6か月児健康診査は川口市医師会に委託し、健診を実施した。1歳6か月児歯科健康診査は川口歯科医師会に委託し、歯科健診及びフッ化物塗布を実施した。3歳児健康診査は内科、歯科検診を実施した。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	受診率・来所率は上昇傾向である。より多くの対象者を健診・相談支援することができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	3. 4か月児健康診査受診率	目標値	95	95	95
	単位	%	指標の種別	成果	実績値・達成状況	93.9 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		受診者数÷対象者数×100 (%)			
指標②	名称	3歳児健康診査受診率	目標値	90	90	90
	単位	%	指標の種別	成果	実績値・達成状況	86.5 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		受診者数÷対象者数×100 (%)			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	004細目	02細々目	乳幼児健康診査・健康相談事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	103,054			104,243			104,243	
決算額(B)	100,479							
財源	特定財源	0						
	一般財源	100,479						
概算人件費(C)	106,600			101,400			101,400	
従事職員人数(人)	常勤	13.00	再任用	0.00	常勤	13.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	207,079			205,643			205,643	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	受診率は上がってきているが、周知方法等について、広報用チラシに工夫をしたり、イベント等に参加し、より有効な周知活動をし、引き続き受診率の向上策を検討する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11101101	事業名称	未熟児養育支援事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 25 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	母子保健法

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市に住民登録のある1歳未満の乳児で身体が未熟のまま出生し、医師が指定医療機関での入院養育を必要と認めたもの	川口市に住民登録のある1歳未満の乳児で身体が未熟のまま出生し、医師が指定医療機関での入院養育を必要と認めたもの及びその保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	未熟児は、正常な新生児に比べて生理的に未熟であり、疾病にもかかりやすいため、特別なケアが必要となる未熟児に対しては養育に必要な医療の給付を行う。未熟児の保護者に対して訪問指導、グループ指導を行い、育児負担、精神的負担の軽減を図ることを目的とする。	未熟児養育医療の給付を行う。退院後保健師が訪問指導を実施する。極小未熟児の保護者に対してグループ指導を実施する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	未熟児養育医療の給付の申請受付を行う。給付決定後、養育医療券を交付した。訪問指導実施にあたっては、医療機関等を通じて未熟児の症状の把握をし、保健指導を実施した。未熟児の専門医師、看護師を講師とし、専門的な相談や保護者同士のグループワークを実施した。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	未熟児養育医療を給付することによって、保護者の経済的負担を軽減することができた。また、早期に訪問指導を行い、さらにグループ指導を行うことによって保護者の育児不安や負担感を軽減することができ、虐待などのリスクを予防することができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	未熟児養育医療給付者数	目標値	150	150	150
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	平成28年度の未熟児養育医療給付者数(人)				
指標②	名称	未熟児訪問指導件数	目標値	375	375	375
	単位	件	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	未熟児養育医療申請者への延訪問指導件数(人)				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	004細目	05細々目	未熟児養育支援事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	51,793			46,161			46,161	
決算額(B)	51,711							
財源	特定財源			43,033				
	一般財源			8,678				
概算人件費(C)	18,860			17,940			17,940	
従事職員人数(人)	常勤	2.30	再任用	0.00	常勤	2.30	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	70,571			64,101			64,101	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	専門職を確保し退院後の継続した訪問指導を実施する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11101201	事業名称	がん検診事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 41 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん対策推進基本計画

■事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	胃がん、肺がん、大腸がん 40歳以上の市民 子宮頸がん 20歳以上の市民 乳がん(視触診)30歳以上の女性市民 (乳房X線・視触診)40歳以上の女性市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	がんは、早期発見・早期治療が有効であるため、各種がん検診を実施し、受診を通しより高い認識・理解を図る。更には市民が自ら生活習慣を見直し、健康の維持・増進及びがんの早期発見・早期治療に努めること。	がんの早期発見のための受診勧奨、精密検査及び早期治療の促進、また、健康意識の向上に向けて、知識の普及啓発を行なう。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	胃がんは集団検診で実施。肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん(視触診)は医療機関で個別検診を実施。乳がん(乳房X線・視触診)は集団と個別検診を実施。周知は、全対象者への個別通知や広報・HPなどへの掲載、冊子の各戸配布、特定年齢への無料クーポン券の送付等を実施。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	がんの早期発見、早期治療、更には受診者本人及び家族、身近な人の健康意識の向上に結びついた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	子宮頸がん検診受診率	目標値	35	前年値を上回る	前年値を上回る
	単位	%	指標の種別	成果	実績値・達成状況	12.0 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいづくり計画における、受診率目標:平成35年度までに35%の達成を目標とする。平成28年度より国による対象者の考え方が変更となった為、受診率の変動あり。受診者数は前年度より増加している。				
指標②	名称	乳がん検診受診率	目標値	30	前年値を上回る	前年値を上回る
	単位	%	指標の種別	成果	実績値・達成状況	11.1 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいづくり計画における、受診率目標:平成35年度までに30%の達成を目標とする。平成28年度より国による対象者の考え方が変更となった為、受診率の変動あり。受診者数は前年度より増加している。				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	005細目	01細々目	がん検診事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	551,341			568,856			568,856	
決算額(B)	548,855							
財源	特定財源	3,698						
	一般財源	545,157						
概算人件費(C)	31,160			29,640			29,640	
従事職員人数(人)	常勤	3.80	再任用	0.00	常勤	3.80	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	580,015			598,496			598,496	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	がん検診の情報を、正確により多くの市民に伝えることと、受診者を増やすこと。また、市民の利便性をより向上させることが課題。そのために、川口市医師会等の協力を得て、胃がん検診の個別化を実現するための準備や、より良い周知方法に向けガイドブックの見直しを行う。	29年度 現状維持で実施 30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11101301	事業名称	健康診査事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年	～		年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	健康増進法					

■事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	健康診査:40歳以上、生活保護受給者。肝炎ウイルス検診:40歳及び41歳以上過去未受診者。訪問歯科健康診査:概ね65歳以上、在宅で寝たきり。成人歯科健康診査・歯科ドック:30歳以上。	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	疾病の予防および早期発見・早期治療を目的としている。	疾病の早期発見のための受診勧奨、精密検査及び早期治療の促進、また、健康意識の向上に向けて、知識の普及啓発を行なう。			
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績			
	《川口市医師会に委託》健康診査・肝炎ウイルス検診は、それぞれ対象者に個別通知し、実施機関(病院等)で受診。《川口歯科医師会に委託》訪問歯科健康診査は、申し込み後、訪問し実施。成人歯科健康診査・歯科ドックは対象者に個別通知し、実施機関で受診。	項目	実績	単位	
活動の成果【定性的評価】	受診を通して、自らの健康状態や正しい知識・情報を知る機会となり、疾病の予防および早期発見・早期治療、健康に対する意識の向上につながった。さらに受診後にも健康相談等、継続したサービスの利用につながった。				

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	肝炎ウイルス検診受診者数	目標値	615人以上	前年値並み	前年値並み
	単位	人	指標の種別	成果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		肝炎ウイルス検診を受診した方の数(人)			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	005細目	02細々目	健康診査事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	81,693			82,879			82,879	
決算額(B)	81,017							
財源	特定財源	13,735						
	一般財源	67,282						
概算人件費(C)	10,660			10,140			10,140	
従事職員人数(人)	常勤	1.30	再任用	0.00	常勤	1.30	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	91,677			93,019			93,019	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	肝炎ウイルス検診は、個別通知の導入で大幅な受診者数の向上があったが、要精検者へのフォロー体制が十分ではない。また、健康診査についても受診後のフォローアップが不十分であるため、今後帳票類の見直しや、相談事業との連携について見直しを行う。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11101401	事業名称	成人健康づくり事業	事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	57	年	～		年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	健康増進法					

■事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 健康に関する正しい情報・知識を市民に広くお知らせする。また、健康の保持・増進、疾病の予防等について、市民自らの健康管理意識を向上させる。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 健康教育・健康相談・訪問指導・機能訓練事業などを通して、健康の保持増進、疾病予防に関する情報や知識を伝える。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④訪問指導 ⑤失語症者支援事業 等	主な活動実績 項目 実績 単位	
活動の成果【定性的評価】	市民が自らの健康に関心を持ち、生活習慣を見直すことにより疾病予防・悪化防止・介護予防に役立った。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	健康教育の延べ参加者数	目標値	5,000		
	単位	人	指標の種別	成果	実績値・達成状況	6,241 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		健康教育の延べ参加者数(人) ※各教室が定員を満たした場合の延べ参加者数(各教室の定員の合計)とした。			
指標②	名称	健康相談の延べ参加者数	目標値	1,000		
	単位	人	指標の種別	成果	実績値・達成状況	1,051 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		健康相談の延べ参加者数(人) ※各種健康相談の来場予定数の合計とした。			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	005細目	03細々目	成人健康づくり事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	2,498			2,359			2,359	
決算額(B)	2,398							
財源	特定財源	522						
	一般財源	1,876						
概算人件費(C)	50,840			48,360			48,360	
従事職員人数(人)	常勤	6.20	再任用	0.00	常勤	6.20	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	53,238			50,719			50,719	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	参加者が一部の市民にかたよりやすい傾向がある。若い世代を対象にした相談・教育等の事業を実施していくとともに、幅広い年齢の市民が参加しやすい内容を検討していく。また、より地域に密着した事業を展開していくため、地域包括支援センター等との連携、出前講座等の活用についても、引き続き周知していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11101501	事業名称	精神保健福祉事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	精神保健福祉法 医療観察法 自殺対策基本法 アルコール対策法

■事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・一般市民 ・地域で生活する精神障害者とその家族 ・精神保健福祉相談支援に携わる職員	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左
事業の概要	事業の目的(何のために) 精神障害者の社会復帰・地域支援。また、精神保健福祉に対する正しい理解を広め、誤解や偏見をなくすこと。精神保健福祉に関する相談技術の向上をはかり、適切な支援を行うことを目的とする。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 精神疾患の早期発見・早期治療、こころの健康づくりや精神障害者の社会復帰を促進するため、地域生活の支援・社会復帰相談事業を行なう。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ①相談事業(こころの健康相談、精神事例検討会等) ②健康教育(統合失調症、こころの健康講座等) ③社会復帰支援事業(ソーシャルクラブ) ④自殺予防対策事業(メンタルヘルスチェック、ゲートキーパー研修等)	主な活動実績	項目 実績 単位
活動の成果【定性的評価】	知識の普及および正しい理解を深めることができた。また、社会復帰支援で、再発予防と地域生活を送るための基盤づくりが進んだ。自殺対策では、こころの健康についての関心を深め、支援者は相談技術の向上を意識して努めるようになった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	精神保健福祉相談延人数	目標値	1,000	1,000	1,000
	単位	人	指標の種別	成果	実績値・達成状況	821 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	精神保健福祉に関する相談(面接・電話・訪問等)の延人数(人)				
指標②	名称	こころの健康講座参加者数	目標値	300	300	300
	単位	人	指標の種別	成果	実績値・達成状況	216 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	こころの健康講座の参加者数(人) ※各講座の定員の合計とした。				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	005細目	04細々目	精神保健福祉事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	1,346			1,007			1,007	
決算額(B)	1,240							
財源	特定財源	491						
	一般財源	749						
概算人件費(C)	36,900			35,100			35,100	
従事職員人数(人)	常勤	4.50	再任用	0.00	常勤	4.50	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	38,140			36,107			36,107	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	精神保健福祉に関する相談技術の向上、関係機関との連携、ネットワークづくりを更にすすめる必要がある。心の健康に関する講座や相談事業を継続実施しながら関係機関との連携を深め、市民の要望に対応していけるよう今後も継続していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 他事業に統合されて実施 31年度 他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11101601	事業名称	歯の健康フェスティバル事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	川口市歯科口腔保健の推進に関する条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	生涯にわたり健康で丈夫な歯を保てるよう歯の健康フェスティバルを通して広く市民に啓発することが目的である。	6月に総合文化センターリリアを会場に川口歯科医師会と共催で歯科衛生士会、歯科技工士会、保健所の協力を得て歯の健康フェスティバルを開催した。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	ブラッシング指導、アトラクション、フッ化物体験コーナー、8020コーナー、小中学校児童生徒の図画ポスター、標語の展示をし、優秀作品を表彰した。学校保健の発表を芝西小学校の児童が行った。東京医科大学の協力を得て、口腔がん検診を実施した。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	来場者が前年より少なかったが、乳幼児期・学童期・思春期・成人期・高齢期にいたる全ての年齢で、う蝕や歯周病の予防、口腔機能の維持を目的とした、口腔保健の普及啓発が出来た。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	参加人数	目標値	1,200	1,200	1,200
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	1,065 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		歯の健康フェスティバル参加人数(人)。			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	006細目	01細々目	歯の健康フェスティバル事業						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	1,483			1,491			1,491						
決算額(B)	1,460												
財源	特定財源	0											
	一般財源	1,460											
概算人件費(C)	2,460			2,340			2,340						
従事職員人数(人)	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	3,920			3,831			3,831						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	参加者が、一定していないので、毎年新コーナーの導入など内容を工夫していく必要がある。内容について関係機関と協議し、幅広い年代のより多くの市民が参加できるよう工夫していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11200102	事業名称	小児夜間等救急診療事業			事業区分	主要な事業 政策宣言15
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2687	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	小児救急医療施設運営費補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)													
	市民	救急医療を必要とする小児とその保護者													
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)													
	休日や夜間における小児救急患者に対応する。乳幼児を持つ保護者のホームケアを啓発し、不要不急の受診を減らし、小児医療の現場を守る。	<ul style="list-style-type: none"> 小児救急患者に対する救急診療を実施 小児医療講座の開催 													
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績												
	<ul style="list-style-type: none"> 平日の20時~23時までを医師会の医療機関による在宅当番制・平日の23時~翌日8時までと土・日・祝・休日・年末年始を市立医療センター、済生会川口総合病院及び埼玉協同病院の3医療機関の交代制で実施・小児医療講座を開催(6、7、11、1月)定員100名 		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療日数</td> <td>365</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>小児夜間等救急診療対応医療機関数</td> <td>27</td> <td>機関</td> </tr> <tr> <td>小児医療講座</td> <td>4</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	診療日数	365	日	小児夜間等救急診療対応医療機関数	27	機関	小児医療講座	4	回
	項目	実績	単位												
	診療日数	365	日												
小児夜間等救急診療対応医療機関数	27	機関													
小児医療講座	4	回													
活動の成果【定性的評価】		小児夜間救急診療体制を確保し、広報かわぐち(毎月)、小児夜間診療当番表(年2回)、市ホームページ等で周知したことで、市民ニーズに対応した医療体制を図ることができ、きめの細かいサービスの提供ができた。													

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	年間患者数	目標値	9,292	9,319	
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		過去3年間の実績の平均値			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	03細々目	小児夜間等救急診療事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	83,287			83,334			83,334					
決算額(B)	83,104											
財源	特定財源	16,023										
	一般財源	67,081										
概算人件費(C)	5,740			5,460			5,460					
従事職員人数(人)	常勤	0.70	再任用	0.00	常勤	0.70	再任用	0.00	常勤	0.70	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	88,844			88,794			88,794					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
48 /60	厳しい財政状況と医師の高齢化や小児科医の減少のため、今後の診療体制をどのように継続していくかという課題がある。センター化の必要性を含め、市民ニーズに対応した適正な救急医療体制の整備を図れるよう、体制の見直し等を川口市医師会と協議していく。	<table border="1"> <tr> <td>29年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	29年度	現状維持で実施	30年度	現状維持で実施	31年度	現状維持で実施
29年度	現状維持で実施							
30年度	現状維持で実施							
31年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11200201	事業名称	在宅当番医制事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2687	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	40	年	～		年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実					
根拠法令等						

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)			
	市民		日曜・祝日に初期救急医療を必要とする市民			
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	日曜・祝日の急な病気や怪我等の際に受診できる体制を確保する		休日等の初期救急医療体制の確保 休日等の初期救急医療体制の周知活動			
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績			
	<ul style="list-style-type: none"> 市医師会所属協力医療機関により実施 日曜・祝日・休日・年末年始の9時から17時まで診療業務を実施 1日(病院・内科・小児科・その他)の4医療機関体制 		項目	実績	単位	
			診療日数	72	日	
			市医師会所属協力医療機関数	213	機関	
活動の成果【定性的評価】	市医師会の協力を得て受診できる医療体制を整備、確保することにより、市民の初期救急医療ニーズに対応することができた。また、市広報市裏面を「救急診療当番医」の当番表として固定掲載したことが、市民の意識に定着し安心につながっている。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	患者数	目標値	13,970		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		過去3年間の実績の平均値			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	01細々目	在宅当番医制事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	22,971			22,996			22,996	
決算額(B)	22,930							
財源	特定財源		0					
	一般財源		22,930					
概算人件費(C)	1,476			1,404			1,404	
従事職員人数(人)	常勤	0.18	再任用	0.00	常勤	0.18	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	24,406			24,400			24,400	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	厳しい財政状況と医師の高齢化や医師不足のため、今後この初期救急医療体制をどのように継続していくか、また、市民の医療への知識の普及・啓発が課題である。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11200301	事業名称	在宅歯科診療事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2687	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	40	年	～		年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実					
根拠法令等						

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)			
	市民		日曜・祝日に歯科の初期救急医療を必要とする市民			
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	日曜・祝日の救急歯科患者に対応するため		休日等における歯科初期救急医療体制の確保 休日等における歯科初期救急医療体制の周知活動			
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績			
	<ul style="list-style-type: none"> 市歯科医師会所属協力医療機関により実施した。 1日2医療機関体制で実施した。 日曜・祝日・休日・年末年始の9時から17時まで診療業務を実施した。 		項目	実績	単位	
			診療日数	72	日	
活動の成果【定性的評価】	歯科医師会の協力を得て、受診できる医療体制を整備、確保することにより、市民の初期救急医療ニーズに対応することができた。また、市広報市裏面に「救急診療当番医」の当番表として固定掲載したことが、市民の意識に定着し安心につながっている。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度	
指標①	名称	患者数	目標値	632			
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	609	—
	指標・目標値の説明(算定式)		過去3年間の実績値の平均				
指標②	名称		目標値				
	単位		指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)						

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	02細々目	在宅歯科診療事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	10,929			10,929			10,929	
決算額(B)	10,929							
財源	特定財源	0						
	一般財源	10,929						
概算人件費(C)	1,476			1,404			1,404	
従事職員人数(人)	常勤	0.18	再任用	0.00	常勤	0.18	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	12,405			12,333			12,333	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
40 /60	日曜に診療を行っている歯科診療所も増えており、ニーズは低くなりつつある。しかし、祝日は診療をしている歯科診療所は少なく、高いニーズがあると考えられる。今後は、市民ニーズに対応した適正な救急歯科医療体制の整備を図れるよう、必要に応じて体制の見直し等を川口歯科医師会と協議していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11200401	事業名称	病院群輪番制運営事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2686	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 55 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市病院群輪番制運営事業補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	救急病院等を定める省令第1条に基づき埼玉県知事の認定を受け、病院群輪番制事業に協力申請のあった11医療機関	休日や夜間に診療が必要となる患者(特に入院の必要性が考えられる患者)			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	日曜・祝日・休日・年末年始の8時から18時まで(以下「休日」という。)及び全日の18時から翌日の8時まで(以下「夜間」という。)において、救急車及び初期救急医療施設からの転送重症患者の受入等(以下「第二次救急医療」という。)を確保するため。	第二次救急医療を提供する体制を確保することに要した費用の一部を補助金として支出した。			
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績		
	当番医療機関(済生会川口総合病院他10医療機関)へ補助金を交付した。		項目	実績	単位
			川口市病院群輪番制運営事業補助金	31,044,480	円
活動の成果【定性的評価】	休日、夜間において入院治療を必要とする重症患者の医療を確保できた。				

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	当番日受入患者数	目標値	3,862		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		過去3年間の年間患者数(実績値)の平均値			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	04細々目	病院群輪番制運営事業						
年度	28年度				29年度				30年度				
予算現額(A)	31,045				31,045				31,045				
決算額(B)	31,045												
財源	特定財源	0											
	一般財源	31,045											
概算人件費(C)	2,870				2,730				2,730				
従事職員人数(人)	常勤	0.35	再任用	0.00	常勤	0.35	再任用	0.00	常勤	0.35	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	33,915				33,775				33,775				

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	病院群輪番制参加医療機関は、医師等各病院毎の規模が異なるため救急搬送受入患者数のばらつきが見られる。受入患者数のばらつきの改善は難しいが、救急搬送受入最低基準を設定したことにより、一定の受入水準を保つことが期待できる。	29年度	現状維持で実施
		30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11200501	事業名称	外国人未払医療費対策事業	事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2577	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 6 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	埼玉県外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱、川口市外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	国立及び県立を除く県内の医療機関	医療機関を利用する市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	医療費の負担能力に欠ける外国人に係る救急医療に関し、発生した医療費の未収金に対し補填することにより、救急医療体制の確保を図るため。	市内に居所等を有し日本国籍を有しない者で、緊急を要す治療を受けた傷病者で、本人の債務により医療費の返済が行えない者に係る医療費のうち、1年以上経過した未収金に対し補助する。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	・対象医療費(画像診察料、投薬料、リハビリテーション料、注射料等)、入院時食事療養費のうち未収納金の補助を行った。	項目	実績	単位
		外国人未払医療費対策事業補助金	1,270	千円
活動の成果【定性的評価】	県内の医療機関において医療費の負担能力に欠ける外国人の医療費の未収金を一部助成することにより、健全な病院経営に寄与し、地域救急医療体制の確保を維持することができた。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	05細々目	外国人未払医療費対策事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	1,480			0			0					
決算額(B)	1,270											
財源	特定財源			635								
	一般財源			635								
概算人件費(C)	410			390			390					
従事職員人数(人)	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	1,680			390			390					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	近年の国際化により、外国人が増加する中で、急性期の傷病による救急医療を受けた一部の外国人が医療費を支払わないため、医療機関の負担が増加している。救急医療体制の運営を確保するため、未収金の一部を補助する一方で、補助金交付対象の医療機関に対し、積極的な未収金の回収に一層努めるよう求めていく。	29年度 休止 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11200601	事業名称	献血推進事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2686	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 53 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - ① 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市献血推進連絡協議会補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民 川口市献血推進連絡協議会	受益者(最終的に受益を受ける人) 血液を必要とする市民													
事業の概要	事業の目的(何のために) 献血思想の普及・啓発を図ると共に、献血により必要血液を確保するため、献血推進連絡協議会を中心とし、各地区・事業所などに協力を得て、献血の推進及び献血組織の指導・育成を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・川口市献血推進連絡協議会へ補助金を交付。 ・献血思想の普及・啓発を図る。 ・献血による必要血液の確保。 ・献血功労者等表彰。 ・関係機関との連絡調整													
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績												
	<ul style="list-style-type: none"> 川口市献血推進連絡協議会を開催。(7、2月) 川口市献血推進連絡協議会へ補助金を交付及び精算 献血広報車運転業務の委託契約 9月24日、川口健康フェスティバル上で献血功労者等を表彰。 		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川口市献血推進連絡協議会補助金</td> <td>1,973,024</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>川口市献血推進連絡協議会</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>献血功労者等表彰件数</td> <td>33</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	川口市献血推進連絡協議会補助金	1,973,024	円	川口市献血推進連絡協議会	2	回	献血功労者等表彰件数	33	件
	項目	実績	単位												
川口市献血推進連絡協議会補助金	1,973,024	円													
川口市献血推進連絡協議会	2	回													
献血功労者等表彰件数	33	件													
活動の成果【定性的評価】	血液事業の推進を図ると共に、血液を安定的に供給できる体制を確保することができた。														

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	献血者数	目標値	5,927	4,547	
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	2,776 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		埼玉県献血計画における目標値			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	004細目	01細々目	献血推進事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	3,648			3,110			3,110					
決算額(B)	3,148											
財源	特定財源	64										
	一般財源	3,084										
概算人件費(C)	820			780			780					
従事職員人数(人)	常勤	0.10	再任用	0.00	常勤	0.10	再任用	0.00	常勤	0.10	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	3,968			3,890			3,890					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
48 /60	献血者数が年々減少傾向にあるため、PR方法を検討する必要がある。また、県や血液センターと協力し、多くの事業所等団体の協力を求め、目標献血量の達成及び献血思想の普及・啓発に努めていく。	<table border="1"> <tr> <td>29年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>効率化して実施</td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td>効率化して実施</td> </tr> </table>	29年度	現状維持で実施	30年度	効率化して実施	31年度	効率化して実施
29年度	現状維持で実施							
30年度	効率化して実施							
31年度	効率化して実施							

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11200701	事業名称	骨髄移植ドナー支援事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2686	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	埼玉県骨髄移植ドナー助成費補助金交付要綱、川口市骨髄移植ドナー助成金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄・末梢血幹細胞を提供した方。(以下「ドナー」という。)	骨髄移植を必要とする患者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	ドナーの経済的負担を軽減するため助成金を交付し、ドナー登録の一層の拡大及びドナーが骨髄等を提供しやすい環境の整備を図る。	・ドナーへ助成金を交付。 ・支援事業の周知活動。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	・ドナー4人へ各14万円(上限額)を補助した。 ・提供に要した日数(上限7日)×2万/1日で算出した。	項目	実績 単位
		支援希望者数	4 人
		骨髄移植ドナー支援事業助成金	560,000 円
活動の成果【定性的評価】	ドナーの経済的負担の軽減が図られ、かつ、患者の骨髄移植機会の提供に寄与した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	助成金交付件数	目標値	4	5	5
	単位	件	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	前年度助成金交付件数				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	005細目	01細々目	骨髄移植ドナー支援事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	700			700			700					
決算額(B)	560											
財源	特定財源	280										
	一般財源	280										
概算人件費(C)	738			702			702					
従事職員人数(人)	常勤	0.09	再任用	0.00	常勤	0.09	再任用	0.00	常勤	0.09	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	1,298			1,402			1,402					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
36 /60	将来的な市民ニーズについて経過を観察し必要と判断すれば、助成件数を増やす等、事業を拡大する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11200801	事業名称	医師会補助事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2577	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年	～		年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実					
根拠法令等	川口市医師会補助金交付要綱					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	一般社団法人川口市医師会			市内の医療機関を利用する市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	医師会の活動を支援し、地域医療の推進、市民の疾病予防及び公衆衛生の向上を図るため。			一般社団法人川口市医師会に対する補助金交付を行なう。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	川口医師会が行う・救急医療、難病対策、予防接種、健康診断等の地域医療推進事業・感染症対策等の公衆衛生啓発活動・研修会、講演会、研究会等の学術研究事業の活動に補助金を交付した。			項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	地域医療の整備や、市民の疾病予防活動により、市民の医療不安の解消を図ることができた。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	007細目	01細々目	医師会補助事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	2,547			2,547			2,547	
決算額(B)	2,547							
財源	特定財源	0						
	一般財源	2,547						
概算人件費(C)	410			390			390	
従事職員人数(人)	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,957			2,937			2,937	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	補助金の支給に際し、より目的達成に資する事業の推進を支援していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11200901	事業名称	公的医療機関運営費補助事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	2687	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 25 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全てのの人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市公的医療機関運営費補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内公的医療機関	済生会川口総合病院	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市域全体の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図るため。	医療法第31条に定める公的医療機関である済生会川口総合病院が行う不採算医療部門の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	「特別交付税に関する省令」に基づき算定した補助金を交付した。	項目	実績
		川口市公的医療機関運営費補助金交付	124,508 千円
活動の成果【定性的評価】	採算性の低い診療分野が維持されるなど公的病院としての機能が維持された。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	008細目	01細々目	公的医療機関運営費補助事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	124,508			124,508			124,508	
決算額(B)	124,508							
財源	特定財源	0						
	一般財源	124,508						
概算人件費(C)	410			390			390	
従事職員人数(人)	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	124,918			124,898			124,898	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	不明	7 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
42 /60	市域の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図るため、不採算医療部門の運営に要する経費に対し、今後も継続して補助金を交付する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11201001	事業名称	済生会川口看護専門学校補助事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2577	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	済生会川口看護専門学校補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	済生会川口看護専門学校	市内医療機関を利用する市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	看護師を養成している看護専門学校への補助により、多くの卒業生に川口市内の医療機関に就職してもらい、看護師不足を解消するため。	看護師養成事業に対して補助金を支出する。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	看護師養成事業のために必要な ・設備・器具の購入費 ・知識・経験を積むための研修会への参加費、講師への謝礼等 に対して補助金を交付した。	項目	実績	単位
		済生会川口看護専門学校補助金	4,270	千円
活動の成果【定性的評価】	最新の医療の動向を踏まえた実践的な教育を受け、質の高い看護技術を習得した。また、卒業生の多くが市内の医療機関に就職し本市の医療に貢献した。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	市内病院への就職者数	目標値	32		
	単位	人	指標の種別	成果	実績値・達成状況	28 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		済生会川口看護専門学校の卒業生(平成28年度:32人)のうち、市内病院への就職者数(人)			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	009細目	01細々目	済生会川口看護専門学校補助事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	4,270			4,270			4,270	
決算額(B)	4,270							
財源	特定財源	0						
	一般財源	4,270						
概算人件費(C)	410			390			390	
従事職員人数(人)	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	4,680			4,660			4,660	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	不明			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	補助金の支給に際し、より目的達成に資する事業の推進を支援していく。	29年度 現状維持で実施
		30年度 現状維持で実施
		31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11201101	事業名称	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	保健衛生課	問い合わせ先	#72-2577	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年 ~ 平成 36 年
第5次川口市総合計画	I 全てのの人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	済生会川口総合病院整備費助成事業に関する協定書

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院	済生会川口総合病院を利用する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	当病院が医療法に定められた公的医療機関として地域の救急医療体制の一翼を担い、安定した救急医療体制の確保と、高度医療を提供し、地域医療を支援する病院としての役割を持たせるため、支援するものである。	新館工事に要する借入金62億1793万1千円に対し、各年度の返済利子の2分の1以内の額を毎会計年度の予算の定めるところにより助成する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	平成28年度は9,897千円を助成した。	項目	実績 単位
		済生会新館建設等整備費利子助成金	9,897 千円
活動の成果【定性的評価】	当病院は公的医療機関として地域の救急医療体制の一翼を担っており、今後も引き続き安定した救急医療体制の確保と新たな機能の整備による高度な医療を提供することが可能となり、地域医療を支援する病院としての役割を持たせることができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	010細目	01細々目	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	15,000			15,000			15,000						
決算額(B)	9,897			9,897			9,897						
財源	特定財源	0			0			0					
	一般財源	9,897			9,897			9,897					
概算人件費(C)	492			468			468						
従事職員人数(人)	常勤	0.06	再任用	0.00	常勤	0.06	再任用	0.00	常勤	0.06	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	10,389			15,468			15,468						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	補助金の支給に際し、より目的達成に資する事業の推進を支援していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11201201	事業名称	奨学金貸付事業			事業区分	通常事業
担当	看護専門学校	看護専門学校	問い合わせ先	287-2511	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市看護学生等奨学金条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 看護師を志望する看護学生等(看護師養成施設、保健師養成所、助産師養成所)で学業成績が良好で品行方正で身体強健な者で、卒業後に市内の医療機関等において、看護師等として就業を希望する者。	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左
事業の概要	事業の目的(何のために) 看護師が不足している現在、奨学金貸付事業を継続することで、より優秀な看護師を養成し、市内医療機関の看護師需要が確保でき、また市内医療機関の充実と、より高い看護能力を有する人材の育成を図ることが目的である。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	同左
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 年度当初に申請を募り、予算の範囲内で貸付決定をしている。具体的には、川口市看護学生等奨学金条例に基づき、一人当たり年間36万円(月3万円)の貸付を行った。	主な活動実績	
		項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	卒業生30名のうち、貸付者は21名で、卒業後の進路については、市内就職者が17名(81%)、そのうち医療センターへの就職者は15名(71%)、その他市内医療機関への就職者は2名(10%)となり、市内医療機関への就職を促している。		

■事業活動・成果の状況

		28年度	29年度	30年度
指標①	名称	目標値		
	単位	指標の種別	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)			
指標②	名称	目標値		
	単位	指標の種別	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	看護学校事業特別会計 01款 01項 01目 003細目 01細々目 奨学金貸付事業											
年度	28年度				29年度				30年度			
予算現額(A)	23,400				26,280				26,280			
決算額(B)	22,350											
財源	特定財源	4,870										
	一般財源	17,480										
概算人件費(C)	8,200				7,800				7,800			
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	30,550				34,080				34,080			

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	奨学金貸付希望者が増加傾向にあり、奨学生の選考が厳しくなっているが、市内医療機関の看護師不足の解消や優秀な看護人材の育成、確保に寄与するため、学生の学業成績及び生活態度等を十分に考慮し、今後とも貸付を実施していく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11201301	事業名称	第1看護学科運営費			事業区分	通常事業
担当	看護専門学校	看護専門学校	問い合わせ先	287-2511	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市立看護専門学校設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	学校教育法第90条第1項に該当する本校の入学者。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	看護師養成施設として、豊かな人間性を養い、看護専門職として必要な知識・技術・態度を習得し社会のニーズに対応できる有能な看護師を育成する。	同左	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	3年課程・全日制において、修業年限3年間で所定の教育内容並びに授業科目である102単位(3000時間)を修得する。	項目	実績
活動の成果【定性的評価】	平成29年度看護師国家試験において、32名(既卒者2名含む)が受験し、32名全員合格した。なお、全国の合格率は88.5%、埼玉県(3年課程)は90.0%であった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	看護学校事業特別会計 02款 01項 01目 001細目 01細々目 第1看護学科運営費											
年度	28年度				29年度				30年度			
予算現額(A)	19,565				19,497				19,497			
決算額(B)	18,686											
財源	特定財源 18,686											
	一般財源 0											
概算人件費(C)	82,000				70,200				70,200			
従事職員人数(人)	常勤	10.00	再任用	0.00	常勤	9.00	再任用	0.00	常勤	9.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	100,686				89,697				89,697			

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	平成31年度の第2看護学科の廃止に伴う教員の異動等により、今後は教育内容を充実すべく第1看護学科の教員の増配置などの教育資源の集中を図っていく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11201401	事業名称	第2看護学科運営費			事業区分	通常事業
担当	看護専門学校	看護専門学校	問い合わせ先	287-2511	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - ①健康を育むまちづくり - ②医療体制の充実
根拠法令等	川口市立看護専門学校設置及び管理条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営												
事業対象	<p>事業の対象(市民等、団体、もの)</p> <p>保健師助産師看護師法に基づく准看護師の免許を得た後3年以上の業務に従事している者又は学校教育法第1条に規定する高等学校若しくは中等教育学校を卒業している准看護師に該当する本校の入学学生。</p>	<p>受益者(最終的に受益を受ける人)</p>													
事業の概要	<p>事業の目的(何のために)</p> <p>看護師養成施設として、看護のさらなる探求をする学生の主体的な学習を支援し、豊かな人間性をはぐくみ、専門職業人としての知識、技術、態度を修得させ、社会に貢献しうる有能な正看護師を育成する。</p>	<p>事業の内容(事業期間を通して何をするのか)</p>													
28年度の実施内容	<p>具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)</p> <p>2年課程・夜間定時制において、修業年限3年間で所定の教育内容並びに授業科目である72単位(2190時間)を修得する。</p>	<p>主な活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績	単位									
	項目	実績	単位												
活動の成果【定性的評価】	<p>過去3年連続合格率100%であったが、平成29年度看護師国家試験においては、30名が受験し、合格者25名(合格率83.3%)であった。なお、全国の合格率は88.5%、埼玉県(2年課程)は77.5%であった。</p>														

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	看護学校事業特別会計 02款 01項 02目 001細目 01細々目 第2看護学科運営費											
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	11,839			12,023			12,023					
決算額(B)	11,350											
財源	特定財源	11,350										
	一般財源	0										
概算人件費(C)	65,600			62,400			62,400					
従事職員人数(人)	常勤	8.00	再任用	0.00	常勤	8.00	再任用	0.00	常勤	8.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	76,950			74,423			74,423					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	3 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	低かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込めない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
40 /60	<p>准看護師の減少等により、本校では第2看護学科の役割を終えたこと及び第1看護学科の教育内容を充実すべく教員配置などの教育資源の集中を図ることから平成31年度をもって第2看護学科を廃止するもの。</p>	<p>29年度 縮小して実施</p> <p>30年度 縮小して実施</p> <p>31年度 廃止</p>

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11300101	事業名称	被保険者証発送事務費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7669	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、国民健康保険法施行規則、川口市国民健康保険条例施行規則

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託								
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 川口市国民健康保険被保険者	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左									
事業の概要	事業の目的(何のために) 被保険者であること又は高齢受給者証対象者であることを証明し、必要に応じ、定められた負担割合で療養の給付を受けることができる。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 被保険者に対し被保険者証を世帯単位で送付する。70歳から74歳までの被保険者に対し高齢受給者証を世帯単位で送付する。									
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・毎年10月1日に更新(有効期限1年)される被保険者証を対象世帯へ送付。併せて、年度途中からの加入者にも随時被保険者証を送付。・毎年8月1日に更新(有効期限1年)される高齢受給者証を対象世帯へ送付。併せて70歳年齢到達者にも高齢受給者証を送付。		主な活動実績								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険被保険者証作成業務委託</td> <td>3,103,239</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>国民健康保険高齢受給者証作成業務委託</td> <td>610,804</td> <td>円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	国民健康保険被保険者証作成業務委託	3,103,239	円	国民健康保険高齢受給者証作成業務委託	610,804
項目	実績	単位									
国民健康保険被保険者証作成業務委託	3,103,239	円									
国民健康保険高齢受給者証作成業務委託	610,804	円									
活動の成果【定性的評価】	被保険者証及び高齢受給者証を受け取った被保険者が必要に応じて自己負担分の支払いのみで療養の給付を受けることができ、その結果、健康の回復、維持につながる事が期待できる。										

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	被保険者証当初発送件数(世帯数)	目標値	94,587	92,500	90,500
	単位	件	指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)		10月1日更新被保険者証交付世帯数			
指標②	名称	高齢受給者証当初発送件数(世帯数)	目標値	21,103	21,000	21,000
	単位	件	指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)		8月1日更新高齢受給者証交付世帯数			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計			01款			01項			01目			002細目			01細々目			被保険者証発送事務費																						
年度	28年度																		29年度			30年度																			
予算現額(A)	54,931																		58,866			58,866																			
決算額(B)	54,910																																								
財源	特定財源																		10,539																						
	一般財源																		44,371																						
概算人件費(C)	69,700																		67,080			67,080																			
従事職員人数(人)	常勤		8.50		再任用		0.00		常勤		8.60		再任用		0.00		常勤		8.60		再任用		0.00																		
	総事業費(A又はB+C)																								124,610						125,946						125,946				

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
54 /60	・当初発送分の被保険者証返戻数が7,256件(7.41%)であり、再送付事務時間及び郵送料の削減が課題。・被保険者証(10月1日更新)と高齢受給者証(8月1日更新)を1枚に統合し、8月1日更新とすることが課題であるが、年度上半期への事務量集中、約900万円のシステム改修費、発送事務費が増大するため、実現の見通しが立っていない。	<table border="1"> <tr> <td>29年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	29年度	現状維持で実施	30年度	現状維持で実施	31年度	現状維持で実施
29年度	現状維持で実施							
30年度	現状維持で実施							
31年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11300201	事業名称	国保給付事務費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7670	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 川口市国民健康保険被保険者	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左												
事業の概要	事業の目的(何のために) 保険給付に係る申請、支給等に関する事務を適正に実施することにより、国保給付事業を円滑に遂行するため。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 臨時職員の雇用、各種申請書等の作成費用の支出、郵便費用の支出、第三者行為損害賠償事務手数料の支出。													
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 臨時職員の雇用、各種申請書等の作成費用の支出、郵便費用費用の支出、第三者行為損害賠償事務手数料の支出。	主な活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国保給付事務費総額</td> <td>7,996,222</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	国保給付事務費総額	7,996,222	円						
項目	実績	単位													
国保給付事務費総額	7,996,222	円													
活動の成果【定性的評価】	臨時職員の雇用による申請受理業務の処理時間の短縮、各種作成した申請書の使用による正確な申請受付など、事業の実施により国保給付事務が円滑に執行された。														

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	国保給付事務費総額	目標値	7,838,000	11,268,000	
	単位	円	指標の種別	結果	実績値・達成状況	7,996,222 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	臨時職員賃金、需用費(印刷製本費)、役務費(通信運搬費、第三者行為損害賠償求償事務手数料)、委託料の合計。				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	01款	01項	01目	002細目	02細々目	国保給付事務費	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	8,105			11,268			11,268	
決算額(B)	7,996							
財源	特定財源	0						
	一般財源	7,996						
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800	
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	16,196			19,068			19,068	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	給付事務を適正に執行するための費用であるという性質上、その支出は適正であることが前提である。臨時職員の雇用については、国保給付事務が増加していることに伴い、業務の効率化を図りつつ、増員について検討していきたい。	29年度 効率化して実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11300301	事業名称	レセプト点検事業費	事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7670	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 川口市国民健康保険被保険者	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左												
事業の概要	事業の目的(何のために) 医療費の削減のため。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	医療機関より請求されてくる診療報酬明細書等(レセプト)について、専門知識を持った者による内容点検を行い、医療機関からの請求の過誤や疑義を確認し、国保連合会への申出を行う。申出内容が認められれば、医療費の減額が行われることから、医療費の適正化につながる。												
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 医療機関より請求されてくる診療報酬明細書等(レセプト)について、専門知識を持った者による内容点検を行い、医療機関からの請求の過誤や疑義を確認し、国保連合会への申出を行う。申出内容が認められれば、医療費の減額が行われることから、医療費の適正化につながる。	主な活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内容点検過誤額割合</td> <td>0.073</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	内容点検過誤額割合	0.073	%						
項目	実績	単位													
内容点検過誤額割合	0.073	%													
活動の成果【定性的評価】	申出の結果、医療費の削減となった場合は、被保険者の納税額の減少につながるため、継続的に実施している。														

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	内容点検過誤額割合	目標値	0.1	0.1	0.1
	単位	%	指標の種別	結果	実績値・達成状況	0.073 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	(内容点検過誤額)/(年間の保険給付額)×100				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	01款	01項	01目	002細目	03細々目	レセプト点検事業費	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	4,913			7,139			7,139	
決算額(B)	4,637							
財源	特定財源	2,149						
	一般財源	2,488						
概算人件費(C)	2,460			2,340			2,340	
従事職員人数(人)	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	7,097			9,479			9,479	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行わなかった	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	市町村国民健康保険が実施しているレセプト内容点検は、都道府県国民健康保険団体連合会(連合会)の1次点検を経ているものであることから、連合会の1次点検の強化を期待したいところであるが、処理能力の問題もあり、市町村国民健康保険でのレセプト内容点検が必要となる。連合会の能力強化の方向性を踏まえて、請求額の減額の増加を図っていく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11300401	事業名称	共同電算処理事業費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7670	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成	16	年	～		年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等						

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市国民健康保険被保険者及び保険医療機関等			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	埼玉県国民健康保険団体連合会(連合会)が行う共同電算事業により、川口市が行う国保関係事務と連合会が行う審査支払事務を一元的に電算処理することにより、事務の効率化を図り、経費の削減、正確な医療費計算や高額療養費計算、迅速な高額療養費の支給を行うこと。			・被保険者台帳の管理及び作成並びに異動処理事務 ・診療報酬明細書等の資格確認及び給付記録事務 ・保健事業に係る統計事務・診療(調剤)報酬明細書及び訪問看護療養費明細書等を磁気媒体に保存するための画像作成、管理等に関する業務・各帳票等の作成		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	・被保険者台帳の管理及び作成並びに移動処理事務 ・診療報酬明細書等の資格確認及び給付記録事務 ・保健事業に係る統計事務・診療(調剤)報酬明細書及び訪問看護療養費明細書等を磁気媒体に保存するための画像作成、管理等に関する業務・各帳票等の作成			項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	毎月約19万3,000件の川口市国民健康保険被保険者にかかる医療機関からの請求に対応し、効率的な事務の執行と審査支払事務を行った。			診療報酬明細書等審査支払件数	2,319,490	件

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	診療報酬明細書等審査支払件数	目標値	2,390,400	2,304,000	2,304,000
	単位	件	実績値・達成状況	2,319,490 未達成		
	指標・目標値の説明(算定式)	年間の診療報酬明細書等の審査支払件数				
指標②	名称		目標値			
	単位		実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計												
年度	28年度				29年度				30年度				
予算現額(A)	64,613				63,982				63,982				
決算額(B)	64,303												
財源	特定財源	0											
	一般財源	64,303											
概算人件費(C)	8,200				7,800				7,800				
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	72,503				71,782				71,782				

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
52 /60	共同電算処理事業は、全県的な総合システムによるため、システムの統一性、法改正による対応などのメリットに対し、融通性に乏しい、稼働時間に制限があるなどの課題がある。システム機器は、平成23年の稼働より5年が経過しており、平成30年1月より次期システムへの移行が予定されている。	29年度	現状維持で実施	
		30年度	現状維持で実施	
		31年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11300501	事業名称	賦課事務経費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7669	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	地方税法、地方税法施行令、地方税法施行規則、川口市国民健康保険税条例、川口市国民健康保険税規則

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	川口市国民健康保険被保険者	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)			
	納税義務者に対象期間の保険税額を知らせ、全額を納付してもらう。	被保険者がいる世帯の納税義務者に対して納税通知書を送付する。			
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績			
	・継続して加入している被保険者がいる世帯の納税義務者へ当初納税通知書を送付。・年度途中からの加入者がいる世帯の納税義務者へ随時納税通知書を送付。・保険税額が変更となる場合、保険税の更正決定通知書を送付。	項目	実績	単位	
活動の成果【定性的評価】	賦課の決定理由、計算の根拠、保険税額及び個人明細、納付方法、納期等を納税義務者へ知らせることで、保険税を納めてもらうことができる。	国民健康保険税納税通知書作成業務委託	10,411,968	円	

■事業活動・成果の状況

				28年度		29年度		30年度	
指標①	名称	当初納税通知書発送件数	目標値	100,037		100,000		100,000	
	単位	世帯数	指標の種別	実績値・達成状況	100,037	達成			
	指標・目標値の説明(算定式)	当初(7月)賦課時の納税義務者数							
指標②	名称		目標値						
	単位		指標の種別	実績値・達成状況					
	指標・目標値の説明(算定式)								

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計			01款			02項			01目			001細目			01細々目			賦課事務経費		
年度	28年度												29年度			30年度					
予算現額(A)	79,698												101,045			101,045					
決算額(B)	76,759																				
財源	特定財源	1,318																			
	一般財源	75,441																			
概算人件費(C)	85,198												81,042			81,042					
従事職員人数(人)	常勤	10.39	再任用	0.00	常勤	10.39	再任用	0.00	常勤	10.39	再任用	0.00	常勤	10.39	再任用	0.00					
総事業費(A又はB+C)	161,957												182,087			182,087					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	平成30年度の国保広域化に伴う保険税率等の見直し。(法定外繰入段階的圧縮) 国民健康保険税は月割りで納期は8回であること、また、7月初旬の当初納税通知書発送以降は、世帯の異動や所得更正の度に税額更正を行ない納税通知書を送付するが、発送時期が最大1ヶ月半後となるため、「便益」と「コスト」の対応がわかりづらい。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11300601	事業名称	相談員事業費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7671	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険税納税義務者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	国民健康保険税の収納率向上を図る。	平成28年度までは訪問徴収を行っていた。 平成29年度からは窓口補助や滞納者の財産調査事務の補助を行う。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	国民健康保険相談員が納税義務者の自宅を訪問して徴収を行った。	項目	実績 単位
		訪問徴収額	527,750,424 円
活動の成果【定性的評価】	以前は土日や夜間の納付環境が整ってなく、訪問徴収は一定の役割、効果があった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	現年度収納率	目標値	85	86	
	単位	%	指標の種別	結果	実績値・達成状況	未確定
	指標・目標値の説明(算定式)	収納額/調定額×100				
指標②	名称	滞納繰越分収納率	目標値	16	17	18
	単位	%	指標の種別	結果	実績値・達成状況	15.99 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	収納額/調定額×100				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計 01款 02項 02目 001細目 01細々目 相談員事業費											
年度	28年度				29年度				30年度			
予算現額(A)	57,055				45,271				30,000			
決算額(B)	42,067											
財源	特定財源	154										
	一般財源	41,913										
概算人件費(C)	20,910				9,750				9,750			
従事職員人数(人)	常勤	2.55	再任用	0.00	常勤	1.25	再任用	0.00	常勤	1.25	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	62,977				55,021				39,750			

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 / 15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	7 / 15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	不明	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 / 15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 / 15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 / 60	平成29年度から勤務体系を内勤に替えるため、事務の実施をスムーズに行えるかが課題である。職員が適宜指導にあたり対応する予定。	29年度 効率化して実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11300701	事業名称	国民健康保険運営協議会経費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7916	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 26 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、川口市国民健康保険条例、川口市国民健康保険条例施行規則

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	1 一部負担金の負担割合に関すること。 2 保険税の税率に関すること。 3 保険給付の種類及び内容に関すること。 4 その他市長が国民健康保険事業の運営上重要なものと認めること。	
28年度の実施内容	具体的実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	事業内容に記載のある事項等についての審議。 28年度は3回開催。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	3回の会議で、国民健康保険事業の運営に関する重要事項が審議、決定された。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種類	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種類	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計 01款 03項 01目 001細目 01細々目 国民健康保険運営協議会経費												
年度	28年度				29年度				30年度				
予算現額(A)	847				842				842				
決算額(B)	495												
財源	特定財源	0											
	一般財源	495											
概算人件費(C)	2,460				2,340				2,340				
従事職員人数(人)	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	2,955				3,182				3,182				

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
53 /60	協議会を構成する委員は、公益代表、国保医師薬剤師代表、被保険者代表(市民)となっており、各分野の意見収集が可能となっている。今後も、各委員に意見をいただきながら審議を行い、その時々に合わせて適正に会議を開催し、健全な国民健康保険事業の実施につなげていく。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11300801	事業名称	保健衛生普及事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7670	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市国民健康保険被保険者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	被保険者の健康意識の高揚や医療費の抑制を図り、医療費の適正化につなげること。	医療機関より請求されてきた受診内容(医療機関名称、医療費総額、自己負担額、日数等)の記載したハガキを、該当世帯に送付することにより、受診状況・医療費の金額を確認することにより、健康意識の高揚や医療費の抑制が期待できる。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	医療機関より請求されてきた受診内容(医療機関名称、医療費総額、自己負担額、日数等)の記載したハガキを、該当世帯に送付する。	項目	実績	単位
		医療費通知発送件数	408,131	件
活動の成果【定性的評価】	医療費通知の作成(発送)件数は、被保険者が医療機関に受診した際に生じる診療報酬明細書等の情報を元に作成されるため、被保険者の受診の状況により作成(発送)件数は増減する。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度	
指標①	名称	医療費通知発送件数	目標値	426,600	420,900	420,900	
	単位	件数	指標の種別	結果	実績値・達成状況	408,131	未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	世帯ごとに作成される医療費通知の発送件数。発送件数は被保険者の受診状況により増減するため、平成28年度は目標を下回った。					
指標②	名称		目標値				
	単位		指標の種別				
	指標・目標値の説明(算定式)						

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	09款	01項	01目	001細目	01細々目	保健衛生普及事業						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	18,849			19,302			19,302						
決算額(B)	18,506												
財源	特定財源	18,506											
	一般財源	0											
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800						
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	26,706			27,102			27,102						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	医療費通知の作成は埼玉県国保連合会による委託により行っており、共同事業であるため作成費用はかかっていない。また、郵送費については一部調整交付金で補填されている。国からの補助金を受ける際の評価項目の一つとなっているが、被保険者に対しより効果的な適正化推進のため、引き続き事業を実施していきたい。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11300901	事業名称	後発医薬品利用促進事業	事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7670	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市国民健康保険被保険者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	処方される薬剤により安価な後発品があり、後発品に切り替えた場合、本人負担に一定の軽減効果が認められる場合、その差額を記載した通知をし、本人の医療費の負担軽減を促進すること。	年に2回、埼玉県国保団体連合会に共同事業として作成を委託しており、一定の差額が生じるデータを抽出し、そのデータが印刷されたものの納品を受ける。納品された通知を送付し、後発医薬品の利用を促進する。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	9月と3月にそれぞれ通知を行った。埼玉県国保団体連合会で作成された後発医薬品差額通知を送付し、後発医薬品の利用を促進する。	項目	実績	単位
		作成(発送)件数	4,412	件
活動の成果【定性的評価】	作成対象年月の受診状況にも左右されるが、先発医薬品から後発医薬品への切り替えが進んだ場合、作成件数は減少していく。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	作成(発送)件数	目標値	6,000	5,800	5,800
	単位	件	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)	対象の年月に、生活習慣病に関し後発品の存在する調剤を使用した場合で、後発品に切り替えたときに300円以上の軽減が見込まれるデータを抽出し、通知を作成・発送している。				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	09款	01項	01目	001細目	02細々目	後発医薬品利用促進事業
年度	28年度			29年度			30年度
予算現額(A)	680			687			687
決算額(B)	409						
財源	特定財源	332					
	一般財源	77					
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用
総事業費(A又はB+C)	8,609			8,487			8,487

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	国の目標である、平成29年度70%の利用率は達成できているものの、さらなる促進が必要と考える。埼玉県国保連合会の協力のもとで、より効果的な通知の作成・発送に取り組みたい。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11301001	事業名称	疾病予防事業	事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7670	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 58 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	川口市国民健康保険被保険者の人間ドック検診料助成に関する要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	30歳以上の川口市国民健康保険被保険者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	疾病を早期発見することにより、健康の保持増進を図ること。	検診料の一部を助成することにより、人間ドックの受診を勧め、疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を図る。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	川口市医師会と協定を結び、川口市医師会指定の医療機関において人間ドック検診を実施している。検診料の一部を助成することにより、人間ドックの受診をすすめ、疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を図る。	項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	平成28年度の実施(助成)件数は、10,468件であった。件数としては、27年度と比較し微減であるが、被保険者数が減少傾向にあることから、受診率は向上している。	人間ドック検診受診率	8.9	%

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	人間ドック検診受診率	目標値	9.3	9.3	9.3
	単位	%	指標の種別	結果	実績値・達成状況	8.9 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		(受診件数)/(対象被保険者数)×100			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計 09款 01項 02目 001細目 01細々目 疾病予防事業											
年度	28年度				29年度				30年度			
予算現額(A)	271,225				271,429				271,429			
決算額(B)	244,840											
財源	特定財源	65,969										
	一般財源	178,871										
概算人件費(C)	8,200				7,800				7,800			
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	253,040				279,229				279,229			

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	受診率の向上のため、今後も広く周知を図って行きたい。また、川口市医師会と調整を行いながら、医療機関内での広報についても協力を求めている。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11301101	事業名称	特定健康診査事業費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7916	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画等

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	40歳以上の川口市国民健康保険被保険者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	特定健康診査は、生活習慣病発症の要因となるメタボリックシンドロームに特化した健診である。若いうちから健康管理を行い、生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、被保険者の生活の質を向上し、医療費を適正化により医療保険の健全な運営を目指す。	特定健康診査は、川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関等において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関等において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。	項目	実績	単位
		特定健康診査受診率	33.0	%
活動の成果【定性的評価】	受診率の向上により、より多くの被保険者の健康管理や生活習慣病の予防へとつながった。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	特定健康診査受診率	目標値	50	60	
	単位	%	指標の種別	結果	実績値・達成状況	33.0 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		受診者数/受診対象者数 (平成28年度の実績値については平成29年3月28日現在) 平成29年度の目標値は川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画に基づく			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計			09款			02項			01目			001細目			01細々目			特定健康診査事業費								
年度	28年度									29年度									30年度								
予算現額(A)	314,583									355,116									355,116								
決算額(B)	278,678																										
財源	特定財源			167,331																							
	一般財源			111,347																							
概算人件費(C)	8,364									7,956									7,956								
従事職員人数(人)	常勤	1.02	再任用	0.00	常勤	1.02	再任用	0.00	常勤	1.02	再任用	0.00	常勤	1.02	再任用	0.00	常勤	1.02	再任用	0.00							
総事業費(A又はB+C)	287,042									363,072									363,072								

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	国が定める特定健康診査等基本指針において、平成29年度までの目標値として特定健康診査実施率60%と定められているが、目標値には達していないのが現状である。受診率は上昇傾向にあるため更なる向上を目指すとともに、周知等の工夫が必要である。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	11301201	事業名称	特定保健指導事業費	事業区分	通常事業
担当	健康増進部	国民健康保険課	問い合わせ先	259-7916	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成	20	年	～		年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	40歳以上の川口市国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査の受診結果で生活習慣病発症のリスクが高い被保険者。		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	対象者が保健指導を受けることで、自らの生活改善を行い生活習慣病の発症や重症化を防ぐことができる。		<ul style="list-style-type: none"> ・肥満を起因する生活習慣病予防の特定保健指導 ・糖尿病性腎症予防の生活習慣病重症化予防対策事業 ・特定保健指導以外の生活習慣病予防の保健指導 		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な活動実績		
	特定保健指導を、9月から5月にかけて委託業者が市内公共施設等で個別に面接を行った。生活習慣病重症化予防対策事業を、8月から2月にかけて委託業者が市内公共施設や対象者自宅にて個別指導した。特定保健指導以外の対象者でリスクがある者に生活改善の案内を通知。		項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	特定保健指導を受けることにより、対象者の生活習慣が改善され、生活習慣病の発症が抑えられた。		特定保健指導	9.1	%

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	特定保健指導利用率	目標値	50	60	
	単位	%	指標の種別	結果	実績値・達成状況	9.1 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	特定保健指導対象者数を母数とした保健指導利用者数の割合(%) 平成29年度の目標値は川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画に基づく				
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計			09款			02項			01目			002細目			01細々目			特定保健指導事業費								
年度	28年度									29年度									30年度								
予算現額(A)	37,305									23,323									23,323								
決算額(B)	33,041																										
財源	特定財源									2,718																	
	一般財源									30,323																	
概算人件費(C)	7,380									7,020									7,020								
従事職員人数(人)	常勤	0.90			再任用	0.00			常勤	0.90			再任用	0.00			常勤	0.90			再任用	0.00					
総事業費(A又はB+C)	40,421									30,343									30,343								

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
52 /60	効果の見える保健指導を行うことができるような委託業者を活用することが課題である。そのためにプロポーザル方式で業者選定を行い、指導力のある業者を選定していく。	<table border="1"> <tr> <td>29年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	29年度	現状維持で実施	30年度	現状維持で実施	31年度	現状維持で実施
29年度	現状維持で実施							
30年度	現状維持で実施							
31年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11301301	事業名称	健康診査事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	高齢者保険事業室	問い合わせ先	259-7653	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、埼玉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左
事業の概要	事業の目的(何のために) 健康診査は、生活習慣病発症の要因となるメタボリックシンドロームに特化した健診である。適切な健康管理を行い、生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、被保険者の生活の質を向上し、医療費の適正化により医療保険の健全な運営を目指す。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 一般社団法人川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。 受診者の自己負担は500円で、健診(検診)費用との差額は、市が川口市医師会に支出する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 一般社団法人川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関等において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施した。	主な活動実績	項目 実績 単位
活動の成果【定性的評価】	受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、健康管理に対する意識の向上が図られた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	健康診査助成者数	目標値	9,800	11,100	
	単位	人	指標の種別	実績値・達成状況	10,067 達成	
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の受診実績を踏まえ設定した。			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	後期高齢者医療事業特別会計			01款			01項			01目			002細目			01細々目			健康診査事業		
年度	28年度						29年度						30年度								
予算現額(A)	114,350						119,085						127,422								
決算額(B)	114,293																				
財源	特定財源						74,931														
	一般財源						39,362														
概算人件費(C)	2,460						2,340						2,340								
従事職員人数(人)	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00					
総事業費(A又はB+C)	116,753						121,425						129,762								

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	人間ドック検診または国民健康保険等の健康診査・人間ドックとの重複受診の防止。	29年度 拡充して実施 30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11301401	事業名称	人間ドック検診料助成事業			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	高齢者保険事業室	問い合わせ先	259-7653	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市後期高齢者医療被保険者人間ドック検診料助成に関する要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 被保険者が人間ドックを受診するにあたり、その検診料の一部を助成することにより人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進に資すること。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進を図るため、人間ドック検診料の一部の助成を行う。被保険者に人間ドック受診の勧奨を行う。受診者の自己負担は6,480円で、受診費用との差額は、市が川口市医師会に支出する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 人間ドックの受診者に対して、検診料の一部を助成した。 ①検診単価 31,060円②自己負担額 6,480円 ③助成額(①-②) 24,580円④受診者数 4,187人 ⑤助成金総額 99,169,402円(未受診項目による減額有り)	主な活動実績 項目 実績 単位	
活動の成果【定性的評価】	人間ドックの受診が容易となり普及が進んだ。受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、健康管理に対する意識の向上が図られた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	人間ドック検診助成者数	目標値	3,900	4,600	
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の受診実績を踏まえ設定した。			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	後期高齢者医療事業特別会計	01款	01項	01目	002細目	02細々目	人間ドック検診料助成事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	107,197			113,293			121,225	
決算額(B)	100,378							
財源	特定財源	78,389						
	一般財源	21,989						
概算人件費(C)	2,460			2,340			2,340	
従事職員人数(人)	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	102,838			115,633			123,565	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	費用決済方法の変更などを行い、業務の効率を上げる。 健康診査または国民健康保険等の健康診査・人間ドックとの重複受診の防止。	29年度 拡充して実施 30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	11301501	事業名称	後期高齢者医療保険料徴収関係経費			事業区分	通常事業
担当	健康増進部	高齢者保険事業室	問い合わせ先	259-7653	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第104条～115条

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	後期高齢者医療制度の安定的な財源の確保	後期高齢医療保険料の収納、滞納整理に関する業務 保険料賦課額の通知 保険料の収納 督促状・催告書の送付 滞納保険料がある者に対する滞納処分や執行停止	
28年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	窓口納付・口座振替通知・年金天引き切替 督促状・催告書の送付 臨戸訪問 分納誓約締結・差押・執行停止 還付処理	項目	実績 単位
		口座振替通知	3,707 人
		督促状・催告書送付	19,464 人
		差押	2,712,510 円
活動の成果 【定性的評価】	年度途中(出納閉鎖期間中)だが昨年度より普通徴収の収納率が上昇		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	現年度分収納率	目標値	99.2	99.2	
	単位	%	指標の種別	成果	実績値・達成状況	98.51 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		現年度分収納率99.20%を目標とする			
指標②	名称	滞納繰越分収納率	目標値	33.3	33.3	
	単位	%	指標の種別	成果	実績値・達成状況	27.93 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		滞納繰越分収納率33.3%を目標とする			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	後期高齢者医療事業特別会計			01款			02項			01目			001細目			01細々目			後期高齢者医療保険料徴収関係経費								
年度	28年度									29年度									30年度								
予算現額(A)	29,683									29,626									31,701								
決算額(B)	29,679																										
財源	特定財源									0																	
	一般財源									29,679																	
概算人件費(C)	16,400									15,600									15,600								
従事職員人数(人)	常勤	2.00	再任用	0.00	常勤	2.00	再任用	0.00	常勤	2.00	再任用	0.00	常勤	2.00	再任用	0.00	常勤	2.00	再任用	0.00							
総事業費(A又はB+C)	46,079									45,226									47,301								

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	賦課業務を適正かつ効率的に行い、且つ、保険料の収納率を向上させる必要がある。保険料の収納率向上は制度の安定的な財政運営を確保するうえで重要なことであり、普通徴収及び滞納繰越の収納率を向上させることが課題である。	29年度 効率化して実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施